

Family list

3 family member for:

JP61021525

Derived from 1 application.

**⌘ ADDRESS CONVERTING SYSTEM BETWEEN FIXED LENGTH DATA
SET AND VARIABLE LENGTH DATA SET**

Publication info: **JP1753919C C** - 1993-04-23

JP4045861B B - 1992-07-28

JP61021525 A - 1986-01-30

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(43) Date of publication of application : 30.01.1986

G06F 3/06

(72)Inventor : OKAYAMA YASUHIRO
YASUI YASUO
NAKAMOTO KIYOTADA

[illegible]

[Date of extinction of right]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭61-21525

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)1月30日

G 06 F 3/06

6974-5B

審査請求 有 発明の数 1 (全 6 頁)

⑮ 発明の名称 固定長データセットと可変長データセット間のアドレス変換方式

⑯ 特 願 昭59-142575

⑰ 出 願 昭59(1984)7月10日

⑱ 発 明 者	岡 山 康 博	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑲ 発 明 者	安 井 靖 雄	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑲ 発 明 者	中 本 清 督	川崎市中原区上小田中1015番地	富士通株式会社内
⑳ 出 願 人	富士通株式会社	川崎市中原区上小田中1015番地	
㉑ 代 理 人	弁理士 山谷 皓 榮		

明 細 書

1. 発明の名称 固定長データセットと可変長データセット間のアドレス変換方式

2. 特許請求の範囲

固定長形式のデータが格納されているDASDと、該DASDよりデータを読出す読出し部と、この読出しデータのうちデータセット内CI番号をシリンダ当りのトラック数で割り商と余りを算出する演算部と、前記商を可変長形式のデータのシリンダ番号としまた前記余りを可変長形式のデータのトラック番号とする連結部と、外部データ記憶部にデータを書出す書出し部を有し、この書出し部により外部データ記憶部に可変長形式のアドレスを付加したブロックを記入することを特徴とする固定長データセットと可変長データセット間のアドレス変換方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はDASD(Direct Access Storage Device)における固定長ブロック・アーキテクチャ(FBA)形式のデータを、一回でアクセスできるデータ長が異なる可変長(CKD)形式のデータシステムに使用するためのロード・モジュールに作成する固定長データセットと可変長データセット間のアドレス変換方式に関する。

DASDにおけるデータ形式の種類には大きくわけて固定長ブロック・データと可変長データの2種類あり、それぞれアドレスの表現が異なる。

すなわち、FBA形式のDASD上のファイルは、第2図に示す如く、CI(Control Interval)という長さが全て等しいレコードで構成されている。そしてこのCIは可変長のブロックA、B……で構成され、ブロックの位置は3バイト長のCCBで表現される。ここでCCはデータセット内の相対CI番号(0～n)であり、Bは各CI内のブロック番号(0～m)であ